

J R 東海労働組合関西地「申」第6号  
2 0 2 0 年 8 月 1 1 日

東海旅客鉄道株式会社  
新幹線鉄道事業本部関西支社  
支社長 畑田 整吾 殿

J R 東海労働組合新幹線関西地方本部  
執行委員長 小林 國博

「新幹線ホームの新型車いす用スロープの不具合改善」に関する申し入れ

6月から新幹線各駅に対して、N700Sの車両に対応できる新型車いす用スロープが配備された。ところが、新型スロープはホームとスロープの接する部分に段差が発生して、車いすが乗降する際に支障となることが判明した。特に、乗車時においては、車いすの前輪がスロープの端の段差に引っかかりスムーズに乗車できない。その時に力を入れて車いすを押すと、車いすが前のめりに転倒する恐れがある。会社としても、新型スロープの不具合については把握していて対策を講じていると聞いている。しかし、新型スロープの不具合が判明してからすでに1ヶ月以上経過しているが、一向に改善に向けての動きが見えてこない。

よって、下記のように申し入れるので早急に団体交渉の場を設定すること。

記

1. 新型スロープの不具合について、明らかにすること。
2. 新型スロープの不具合に対する対策について、明らかにすること。
3. 早急にN700S含めてすべての車両（500系含む）に対応できるスロープを配備すること。
4. 新型車いす用のスロープの不具合による旅客の傷害等が発生したときの責任の所在を明らかにすること。

以上